学校番号	T4001

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	（学）ﾗｲﾌｽﾎﾟｰﾂ	単位数	２単位	年次	4
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は必履修の体育を７単位以上修得した生徒であれば全年次が選択できる科目となっています。この科目を通じて運動の楽しさを味わうとともに、様々な年齢の生徒と協力し、交流しましょう。
・運動の得意・不得意は必ずあると思います。その中で互いに支えあい、教えあいながら楽しい体育の授業にしていきましょう。
・わからないことやできないことはそのままにするのではなく、担当の先生や仲間にアドバイスを求め、何事にも挑戦しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期（10・11月）	球技	ボッチャ (ターゲット型)	a：勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解することができる。（知識） ・用具や身体を使って、さまざまな状況に対応しながら、ボールを標的へ運ぶことができる。（技能） b：攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 c：種目に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとしている。作戦などについての話合いに貢献しようとしている。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。互いに助け合い教え合おうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート
	球技	ゲートボール (ターゲット型)		観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート
	球技	ターゲットバードゴルフ		観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期（12月）	球技	アルティメット (ゴール型)	a:勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解することができる。（知識） ・作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。（技能） b:生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫している。自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 c:種目に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとしている。合意形成に貢献しようとしている。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。互いに助け合い高め合おうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート
後期（1月）	球技	タグラグビー (ゴール型)		観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期（１・２月）	球技	インディアカ （ネット型）	a:勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解することができる。（知識） ・作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。（技能） b:生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫している。自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 c:種目に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとしている。合意形成に貢献しようとしている。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。互いに助け合い高め合おうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート パフォーマンス課題	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度